

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や園場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

・本施設は、宮島自然植物実験所、総合博物館、CSR(総合博物館公認学生ボランティア)など多方面から支援を受けています。

大温室の整備(2)

大温室に展示解説用のパネルを2台購入していただきました。このパネルは、展示内容の説明や企画の広報などに幅広く使っていきます。温室内の植物は、少しずつですが解説を充実していく予定です。



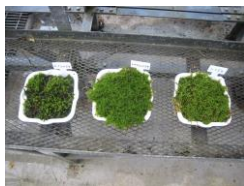
この温室が目指すものは、「南西諸島の植物」と「植物の分類体系」の2つを学べる施設です。実際に植物を見ることが、触れることで、植物の魅力をしっかりと伝えていきたいと考えています。



コケ植物やヒカゲノカスラ植物、シダ植物などの展示・解説の準備も進めています。



新たに、カラタネオガタマやコウヤマキの鉢植えも追加されました。



キャンパスのササ

広島県には約30種類のササが自生しています

◆ウスバザサ(イネ科ササ属)

丈が低く分枝をしない。葉は幅が広く早くから周辺が白く枯れこみ美しい。賀茂台地や世羅台地のアカマツ林に多い。

◆ケネザサ(イネ科メダケ属)

草丈は1m以上になり、よく分枝をする。刈り込まれるとマット状に密生する。葉は細長い。県内に広く分布する。



ウスバザサ



ケネザサ

発見の小径で見られる2種類のササ

花壇緑化活動

緑化ボランティアとCSRによる花壇づくり

12月14日に、中央図書館前の花壇で緑化活動を行いました。当日は、職員と学生をあわせて20名の参加があり、色とりどりのミニバンジーを楽しく植え付けました。また、CSRメンバーの協力で、総合博物館、埋蔵文化調査室前の花壇にもハボタンやパンジーを植え付けました。これらの苗は、植物園の温室や園場で播種し育成されたものです。花苗は、学内の各学部等にも配布し施設緑化を支援しています。



東広島キャンパスに来られた方に、「広大は、きれいでよね」と言っていただけのように、みなさんと盛り上げていきたいです。



栽培実習・R3年秋コース



実習のダイコンで作った「たくあん」が出来上がりました↑

R3年秋コースが終了しました。今年も新型コロナウイルス感染症対策で試食会は出来ませんでしたが、みなさん毎回熱心に参加され、お互いの親睦を深めることが出来ました。「実習でみんなと会うのが楽しみ」という声も多く聞かれました。野菜作りが、広島大学のいい思い出になってくれたらうれしいです。



キャンパスの保全



昨年12月、施設部保全の方に依頼して、がら山登山口のガードレールのペンキ塗りを行いました。1月31日には、イシモチソウ自生地の草刈りを行いました。キャンパスの自然を保全していくためには、日々の作業が必要不可欠です。



イシモチソウ自生地は、富栄養化が進み環境が悪化しています

学童保育の焼き芋・しめ縄作り

12月27日、学童保育の子どもたち9名が園内で自然体験を行いました。園場でとれた安納芋などのサツマイモで焼き芋を作りました。また、自分で縄をない、縁起植物を飾りつけて、しめ縄も作りました。この企画は、技術センターの職員が協力してくれています。



園内の樹木

ナンテン *Nandina domestica* Thunb.

メギ科

中国原産の常緑低木。冬に赤い実をつける。日本では「難を転じる」の意から縁起物として庭木に使われてきました。漢方では、乾燥した果実を咳止め剤として利用。



園内の樹木

ニッケイ *Cinnamomum sieboldii* Meisn.

クスノキ科

中国南部・台湾原産の常緑高木。日本では、沖縄本島や徳之島などで自生地が確認されている。根皮には香りがあり辛味が強いので、香辛料として各地で栽培された。



【お問い合わせ先】

広島大学 統合生命科学研究科
東広島植物園

TEL:082-422-7111
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp